

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|---------------------|------------|
| シラバス年度 | 2023年度 | 国講キャンパス | | 都城キャンパス | |
| 科目名称 | 果樹園芸学特別演習 I | | | 実務経験 | Active・L ○ |
| 科目コード | 611300 | 単位数 | 2単位 | 学位授与方針との関連 | DP1 |
| 教員氏名 | 前田 隆昭 | | | | |
| 授業概要 | 本演習では、果樹園芸学特論 I・II で習得したことをもとに、受講生自らが修士論文課題についての目的・研究方法・進捗状況について論理的に発表し、受講生同志がお互いの理解を深めていく【知識・理解の育成】。 | | | | |
| 関連する科目 | 果樹園芸学特論 I・II を受講しておくことが望ましい。 | | | | |
| 授業の方法と進め方 | 毎回、海外の論文を受講生全員で輪読し、一人一人が論文の内容を発表する。その際は、随時、ディスカッション等により学びを深めていく。本授業はディスカッション、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式で実施する【専門分野の知識・技能の育成】【コミュニケーション能力の育成】。 | | | | |
| 授業計画 | <p>第1回 ガイダンス（スケジュール、評価、概要説明） 授業の概要および進め方について説明する。</p> <p>第2回 論文紹介および発表 1 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第3回 論文紹介および発表 2 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第4回 論文紹介および発表 3 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第5回 論文紹介および発表 4 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第6回 論文紹介および発表 5 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第7回 論文紹介および発表 6 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第8回 論文紹介および発表 7 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第9回 論文紹介および発表 8 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第10回 論文紹介および発表 9 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第11回 論文紹介および発表 10 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第12回 論文紹介および発表 11 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第13回 論文紹介および発表 12 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>第14回 論文紹介および発表 13 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> <p>15回 論文紹介および発表 14 研究に関する論文を集め、その内容を受講生が発表し、ディスカッションを行う。</p> | | | | |
| 授業の達成目標 | 果樹栽培に関する国内外の動向を理解することを目標とする【専門分野の知識・理解の育成】。 | | | | |
| 授業時間外の学修 | 次回、講義で使用する文献を配布するので、事前に予習するとともに、講義後もきちんと復習しておくこと（約1時間） | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 毎回、発表についての指導を行う。 | 評価方法・基準 | | 受講態度（50%）、課題提出（50%） | |
| テキスト | 特になし | | | | |

| | |
|-----|-------------|
| 参考書 | 随時、文献を配布する。 |
| 備考 | |